HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

DVL-BR9

はじめに
接続
設定
その他の設定
必要なとき

準備編

接続する　4ページ

設定する　20ページ

はじめにお読みください。

本書はブルーレイディスクレコーダーをお楽しみいただくために、必要な接続や設定について説明しています。
録画や再生などの操作説明については、別冊の取扱説明書 操作編をお読みください。

このたびは、日立ブルーレイディスクレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

HDD（ハードディスク）は一時的な保管場所です。
万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合、HDDの内容（録画済みの番組データなど）の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

本取扱説明書の内容は2009年4月現在の放送運用に基づいて作成されています。今後の放送運用の変更により、一部内容が異なる場合があります。

保証書別添付

TJ06721
RQT9481-S

もくじ

接続

接続1 テレビとアンテナを接続する 4

本機をアンテナやテレビと接続します。接続しないと、放送を受信することも、録画した番組や市販のブルーレイディスク、DVD ビデオなどを見ることもできません。より高画質な映像を出力できるコードがおすすめです。

接続2 ビデオなどその他の外部機器と接続する 9

アンプなどと接続して大迫力の音声を楽しめます。

CATV（ケーブルテレビ）［ホームターミナル / セットトップボックス（S T B）］と接続する......... 12

CATV をお使いの場合にご覧ください。

接続3 ネットワーク接続をする 14

ブロードバンドを利用したさまざまなサービスの利用や、他機器との連携をするために必要な接続です。

接続4 電話回線に接続する.................... 17

視聴者参加番組を楽しむために必要な接続です。

接続5 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する 18

デジタル放送を見るために必要なカードです。

接続6 電源コードを接続する 最後に接続！ ... 19

必ず他の接続が終了してから行ってください。

設定

設定1 かんたん設置設定をする 音声ガイド対応 20

お住まいの地域の郵便番号や市外局番を入力するだけで、チャンネル設定などを自動的に行ってくれます。

設定2 接続した端子に合わせて設定する ... 24

接続する端子に合わせて映像や音声が正しく出力されるように設定します。

設定3 テレビ画面の横縦比を設定する 28

設定4 番組表（G ガイド）を受信する 29

番組表（G ガイド）を使うと、録画予約がとってもかんたんです。

その他の設定

- 地域設定の修正 /B-CAS カードのテスト / ダウンロード予約の設定............... 31
- アンテナの調整 32
- 時刻合わせ / リモコンの設定....................... 34
- ネットワークの設定をする.......................... 36
- ネットワーク連携する機器の設定をする.... 38
- 電話を設定する 39
- 受信チャンネルを修正する.......................... 40
  - 地上デジタル放送 40
  - BS・CS デジタル放送..................................... 41
  - 地上アナログ放送 41
- かんたん設置設定をやり直す（引っ越しをした場合など）......................... 43

必要なとき

- Q & A（よくあるご質問）............................. 44
- こんな表示が出たら 45
- 地上アナログ放送チャンネル一覧表 46
- 地上デジタル放送チャンネル一覧表 48
- G ガイド地域一覧表 50
- 地上アナログ放送局コード一覧表 51
- 付属品.. 裏表紙
- お客様ご相談窓口 .... 裏表紙

音声ガイド対応

音声ガイドについて

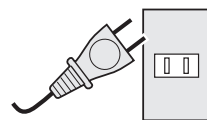
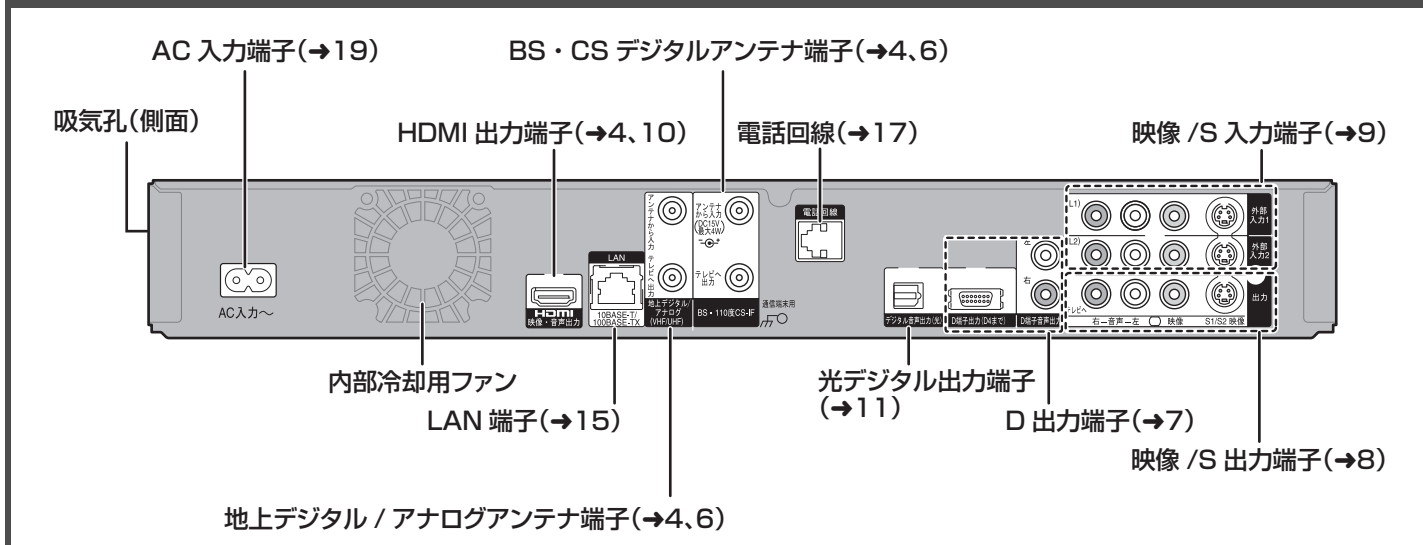
音声で操作をガイドする機能です。

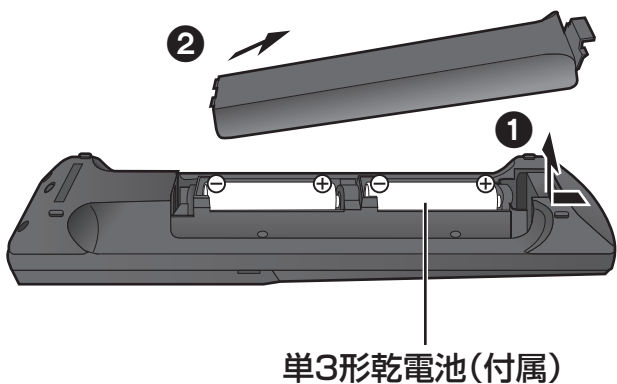
もくじまたは本文中に（音声ガイド対応） 音声ガイド対応 と記載がある場所で働きます。

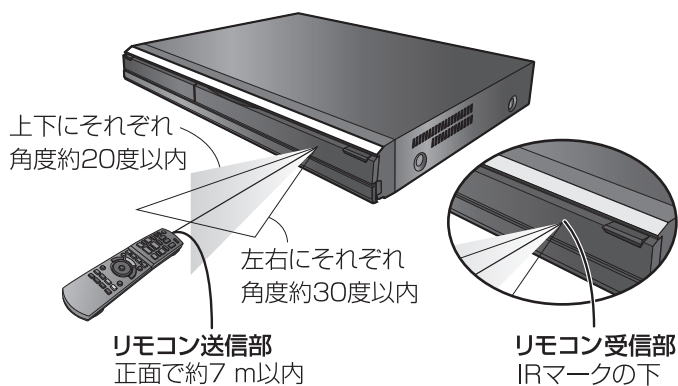
本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを（➜ ○○）、別冊の取扱説明書 操作編で参照していただくページを（➜ 操作編○○）で示しています。

接続の前に

●各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
●ケーブルなどは、本体を固定してしっかりと接続してください。また確実に接続されていることを確認してください。
●テレビまたはビデオなど、外部機器に接続しているアンテナ線などがある場合は、すべて外してから作業することをおすすめします。
●各機器の説明書もご覧ください。

本体背面

リモコンの準備

電池の入れかた

●⊕⊖ を確認してください。
●入れたあとは、ふたを ⊖ 側から先に入れて元どおり閉じてください。
●電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
●不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

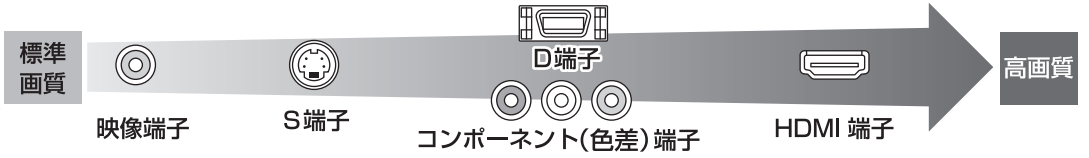
リモコンの使用範囲

●本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が狭くなることがあります。
●リモコンと本機の間に障害物を置かないでください。
●リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

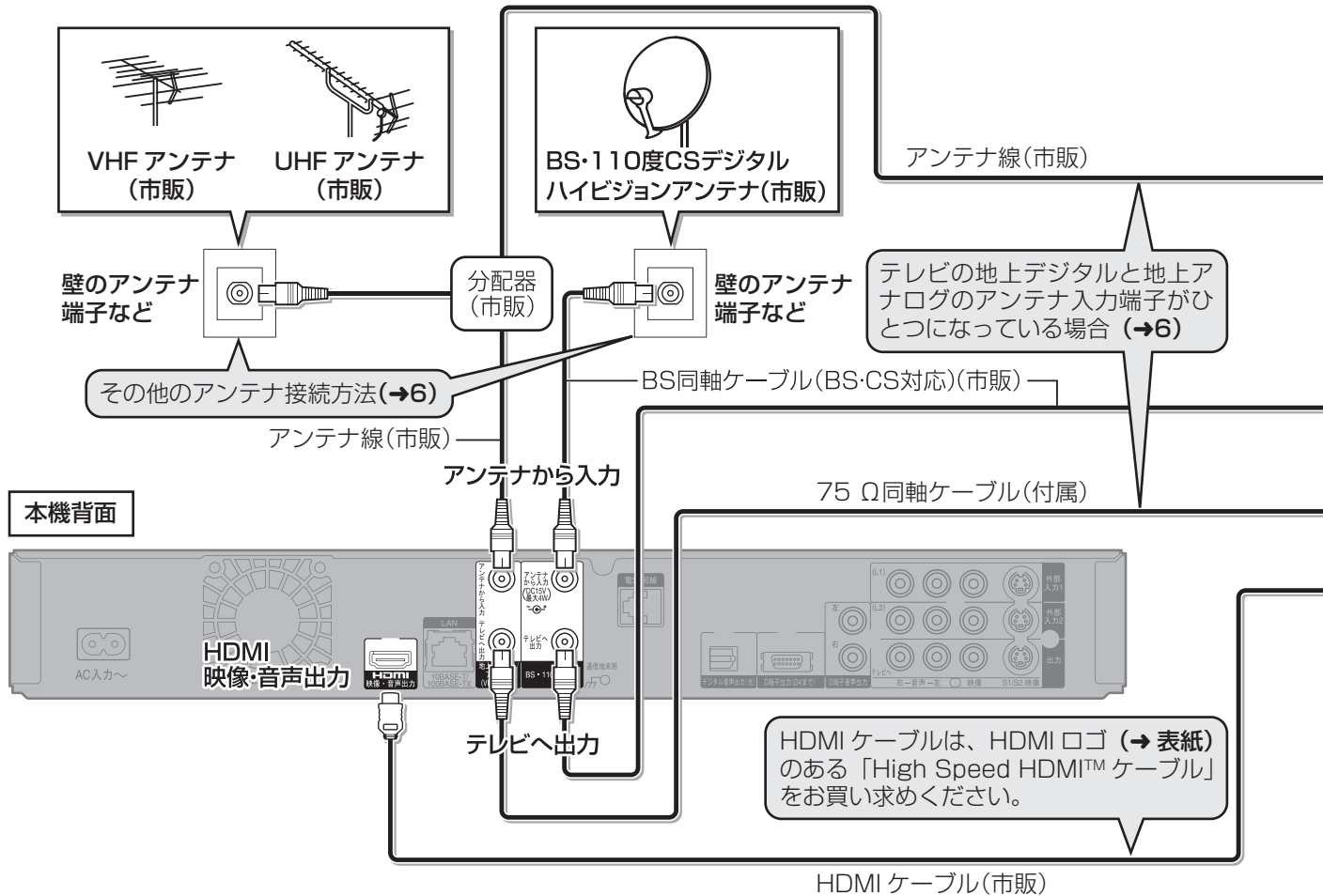
本機の設置場所について

●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。(つゆつきについて ➜ **操作編 112**)
●不安定な場所に設置しない。
●重いものを上に載せない。

接続1 テレビとアンテナを接続する

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線を接続してください。

- 地上アナログ放送の番組表（G ガイド）（➜29）をご利用になる場合でも、BS デジタル放送を受信できる衛星アンテナの接続が必要です。
- すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

このページでは、HDMI ケーブル（市販）を使用した接続を紹介しています。
それ以外のケーブルで接続する場合は、7 ページをご覧ください。

HDMI ケーブル（市販）で接続すると、高画質・高音質の映像と音声で楽しむことができます。
さらに、Wooo リンク機能（**➜5**）に対応した当社製テレビ（Wooo）と接続すると、連動操作が可能になります。

VHF アンテナ（市販）
UHF アンテナ（市販）
BS･110度CSデジタルハイビジョンアンテナ(市販)
アンテナ線(市販)
壁のアンテナ端子など
分配器（市販）
壁のアンテナ端子など
テレビの地上デジタルと地上アナログのアンテナ入力端子がひとつになっている場合（**➜6**）
その他のアンテナ接続方法(**➜6**)
BS同軸ケーブル(BS･CS対応)(市販)
アンテナ線(市販)
アンテナから入力
75 Ω同軸ケーブル(付属)
本機背面
HDMI 映像･音声出力
テレビへ出力
HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ（**➜ 表紙**）のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。
HDMI ケーブル(市販)

設定：
初期設定「HDMI 映像優先モード」、「HDMI 音声出力」:「入」（➜24）
（お買い上げ時は「入」）

VHF/UHF
アンテナ入力
テレビ
BS･110度
CS-IF入力
HDMI
映像･音声入力
地上デジタル
入力

お知らせ

- テレビなど2チャンネルの音声までしか出力できない機器と接続すると、3 チャンネル以上の音声は 2 チャンネルに混合（ダウンミックス）して出力します。（ディスクによってはできない場合があります）
- 映像が映らない場合、画面に映像を映すために本体の [■ 停止] と [▶ 再生] を同時に 5 秒以上押してください。
- 平行フィーダ線は妨害を受けやすくなりますので、ご使用にならないでください。
- 地域によっては、お使いの UHF アンテナで、地上アナログ放送と地上デジタル放送の両方を受信できます。
- 電波が強すぎて画像が乱れる場合は、**放送設定**「受信設定」の「地上デジタル」－「アッテネーター」を「オン」にしてください。（➜32）
- 受信障害のある地域では、放送エリア内でも受信できないことがあります。
- 分配器を使って本機とテレビに BS･110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。（➜44）
- 地上デジタル放送の受信できる地域については、ホームページにてご確認ください。（http://www.dpa.or.jp）

アンテナ線をアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないように F 型接栓をご使用になることをおすすめします。
F 型接栓は、緩まない程度に手で締めつけてください。締めつけすぎると、本機内部が破損する恐れがあります。

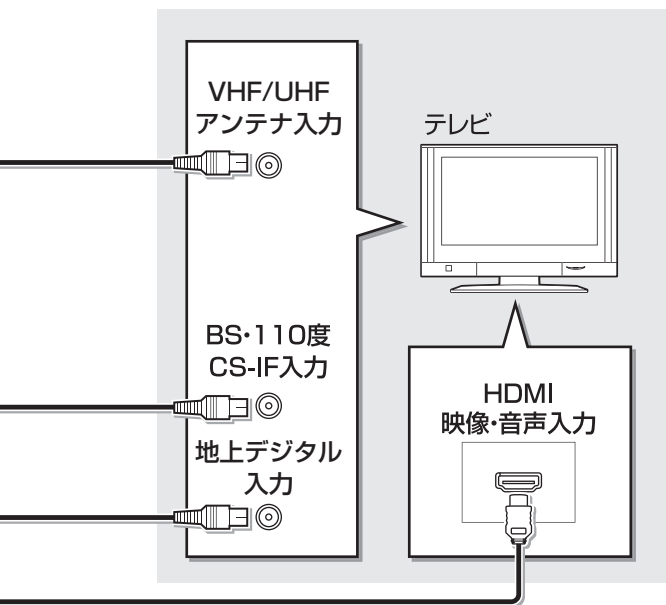
その他の接続：

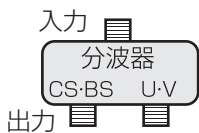
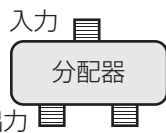
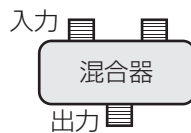
- 「ビデオと接続する」➜9
- 「アンプと接続する」➜10
- 「ネットワーク接続をする」➜14
- 「電話回線に接続する」➜17

Wooo リンク (HDAVI Control™) とは

- 本機とHDMIケーブル(市販)を使って接続したWoooリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
  ※すべての操作ができるものではありません。
- Wooo リンクは、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- Wooo リンクに対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。

お知らせ

- HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

その他のアンテナ接続方法

アンテナやアンテナ配線条件はさまざまであり、下記のように分波器や分配器、混合器が必要になることがあります。また専用のブースターなど市販の部品や加工が必要になることもあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らない、または映りが悪い場合は、販売店にご相談ください。

テレビの地上デジタルと地上アナログのアンテナ入力端子がひとつになっている場合

VHF アンテナ（市販）

UHF アンテナ（市販）

壁のアンテナ端子など

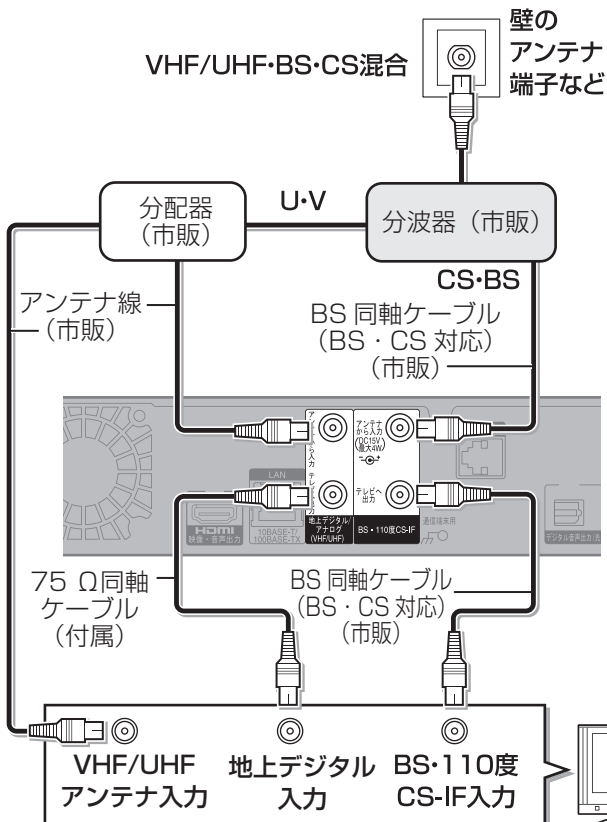
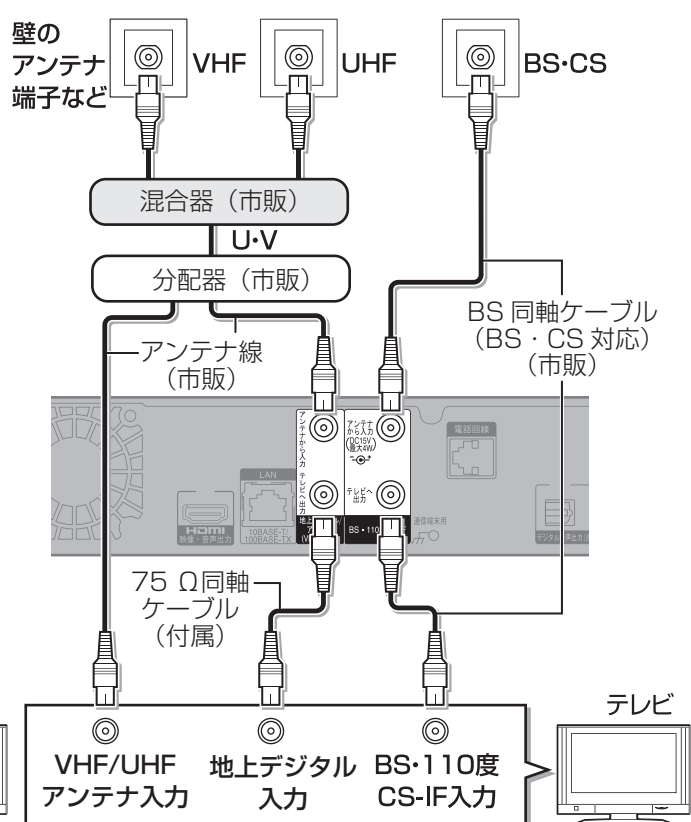
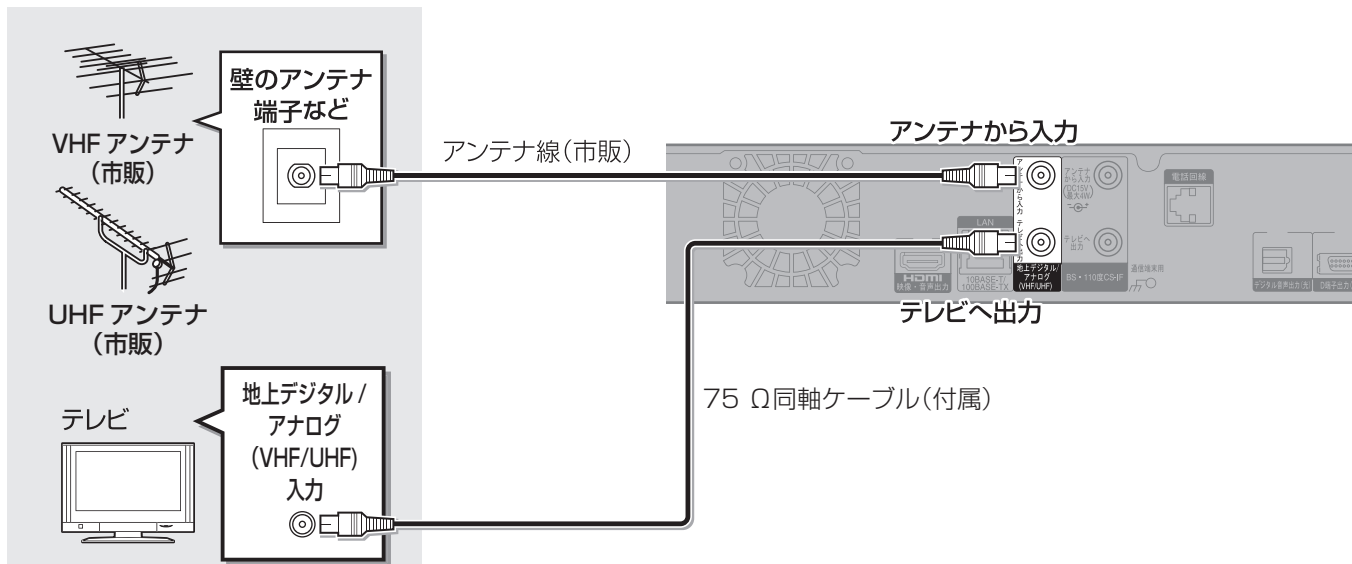
アンテナ線（市販）

アンテナから入力

テレビへ出力

75 Ω同軸ケーブル（付属）

テレビ

地上デジタル / アナログ (VHF/UHF) 入力

HDMI 端子以外で接続する

HDMI 端子での接続以外で、映像と音声のコードを接続する場合にご覧ください。

●音声端子が 1 つしかない（モノラル）テレビをお使いのときは、ステレオ⟷モノラルの映像・音声コード（市販）をお使いください。

D 端子について

480p 以上の信号に対応したコンポーネント（色差）端子、D2 以上の D 端子を持つテレビと接続すると、プログレッシブ映像やハイビジョン映像を楽しむことができます。

●テレビの入力端子が D1 のときは、インターレース映像（➜ **操作編 134**）のみの出力となります。（S 端子より高画質です）

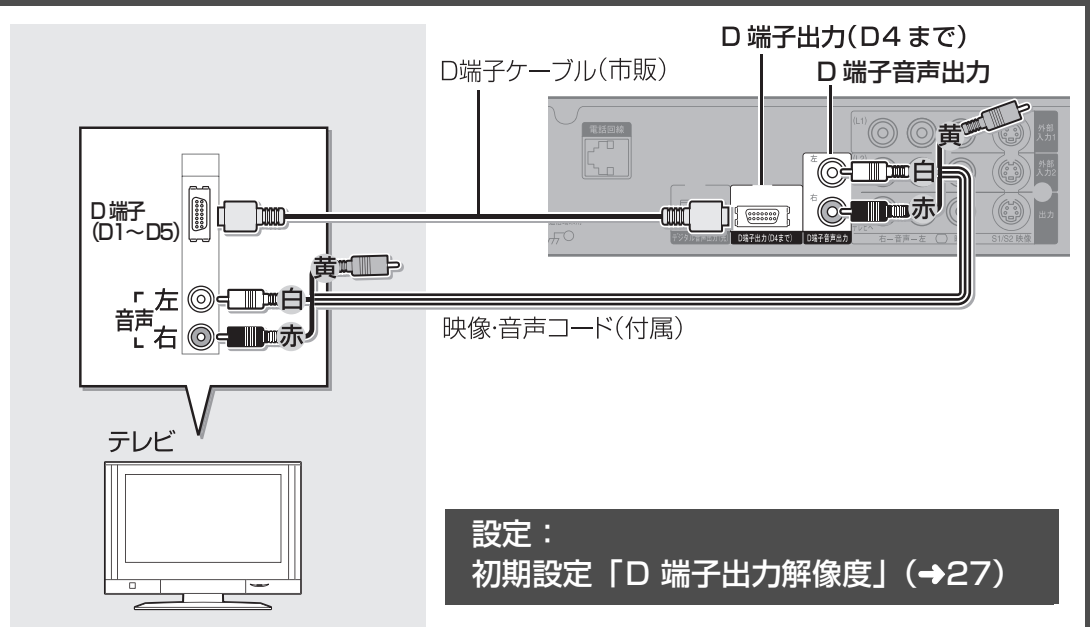
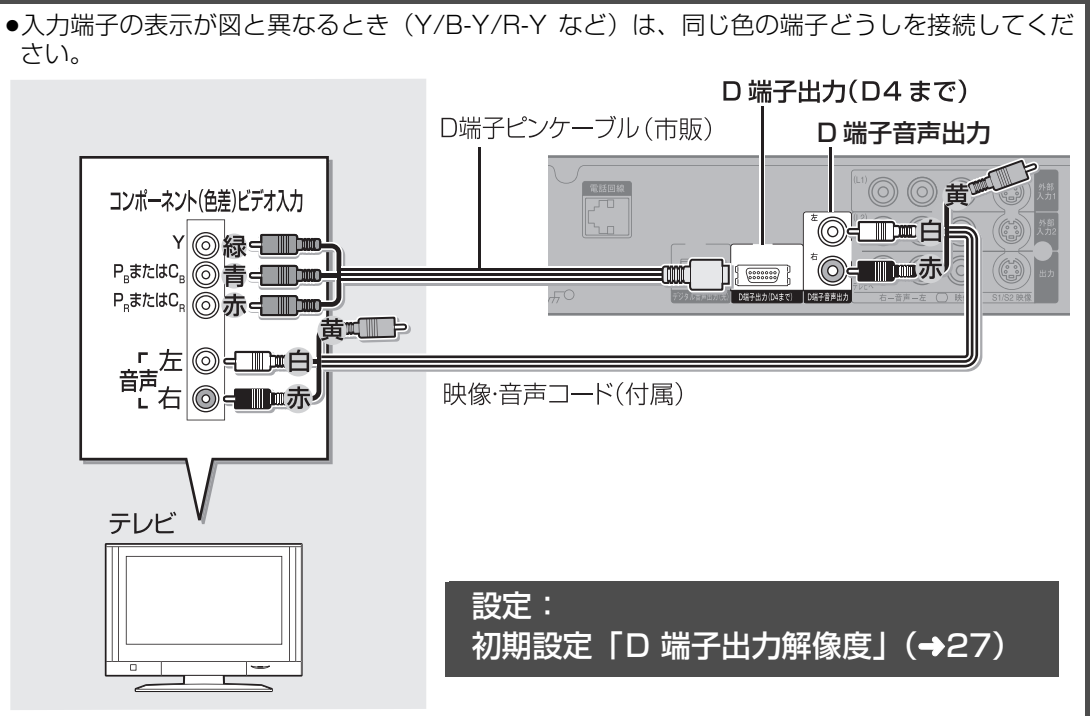
テレビ側の端子　　**本機側の端子**

D 端子に接続する

設定：
初期設定「D 端子出力解像度」(➜27)

コンポーネント（色差）端子に接続する

●入力端子の表示が図と異なるとき（Y/B-Y/R-Y など）は、同じ色の端子どうしを接続してください。

設定：
初期設定「D 端子出力解像度」(➜27)

お知らせ

テレビの D1 または D2 映像入力端子に接続した場合は、はじめて本機の電源を入れたあと本体の [■ 停止] と [▶ 再生] を同時に 5 秒以上押してください。画面に映像が映ります。

HDMI 端子以外で接続する（つづき）

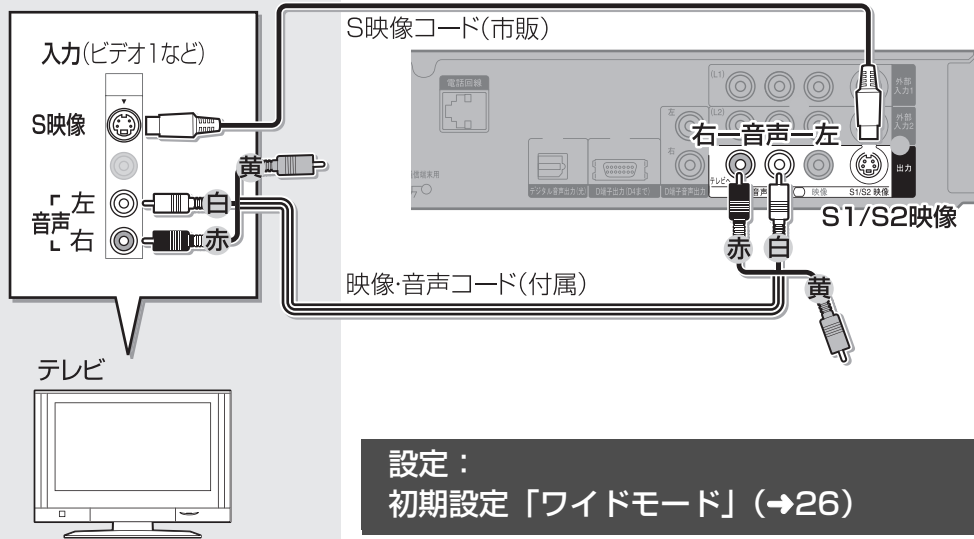
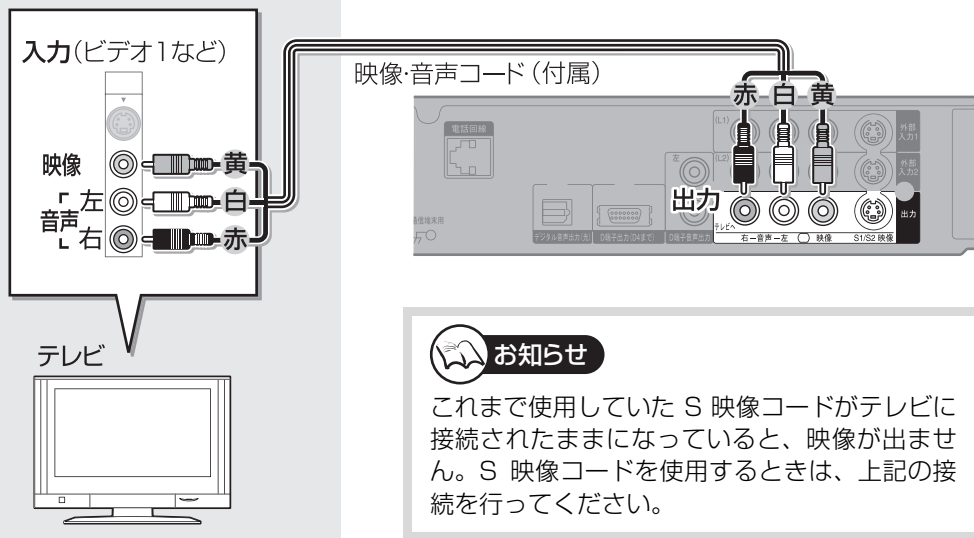
テレビ側の端子　本機側の端子

S 端子に接続する

設定：
初期設定「ワイドモード」(➜26)

映像端子に接続する

お知らせ

これまで使用していた S 映像コードがテレビに接続されたままになっていると、映像が出ません。S 映像コードを使用するときは、上記の接続を行ってください。

お願い

テレビや番組によっては、画面が一瞬乱れたり、画質が低下することがあります。このときは、**初期設定「D 端子出力解像度」を「D1」にしてください。**(➜27)

接続2 ビデオなどその他の外部機器と接続する

お願い

●本機とテレビの間に、他のビデオやセレクターを経由させて接続しないでください。著作権保護の影響により、映像が乱れることがあります。

ビデオと接続する

ビデオ側の端子　本機側の端子

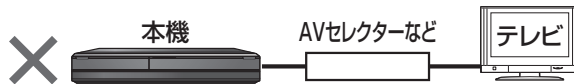
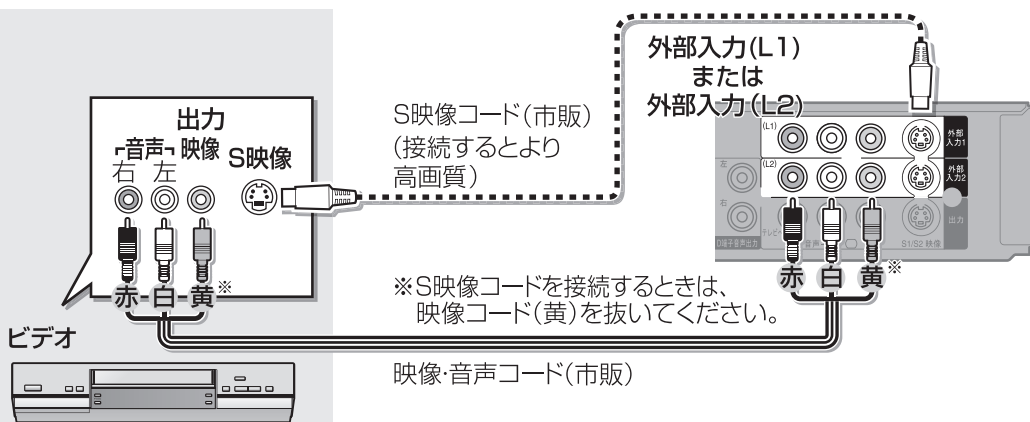
出力
音声 映像 S映像
右 左
赤 白 黄※
ビデオ

S映像コード（市販）（接続するとより高画質）

外部入力（L1）または外部入力（L2）

赤 白 黄※

※S映像コードを接続するときは、映像コード（黄）を抜いてください。

映像･音声コード（市販）

お知らせ

ビデオを見るには

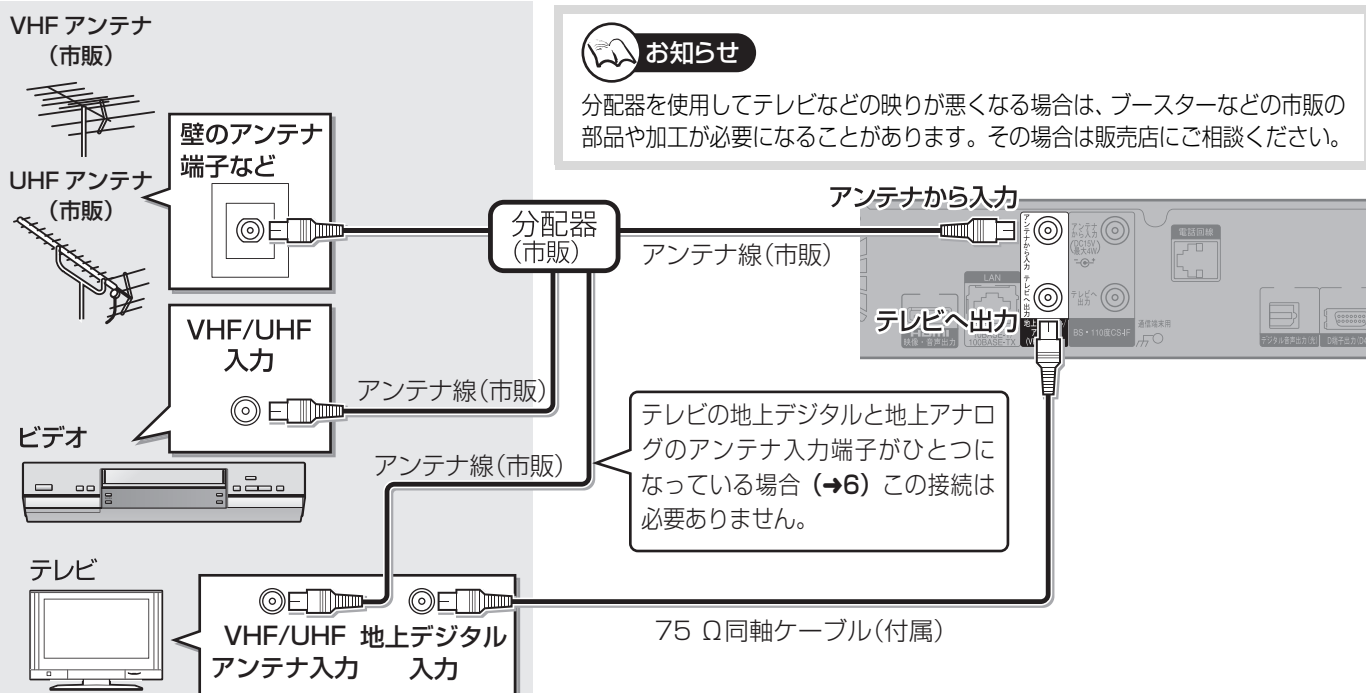
1. テレビの電源を入れ、本機との接続に合わせてテレビの入力を切り換える（ビデオ１など）
2. **[電源]** を押して、本機の電源を「入」にする
3. 本機のリモコンの **[入力切換]**（リモコン下部）を押して、ビデオを接続した外部入力端子「L1」または「L2」を選ぶ
4. ビデオを再生する

ビデオ内蔵テレビと接続するとき

「ビデオ側入力端子」と「テレビ側入力端子」がある場合には、「テレビ側入力端子」に本機出力端子を接続してください。

ビデオでも番組の録画をする場合は

お知らせ

分配器を使用してテレビなどの映りが悪くなる場合は、ブースターなどの市販の部品や加工が必要になることがあります。その場合は販売店にご相談ください。

ビデオなどその他の外部機器と接続する（つづき）

アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

HDMI ケーブルで接続した場合

- Woooリンク機能 (➜5) に対応した当社製テレビやWoooリンク機能に対応したアンプと接続すると、連動操作が可能になります。
- PCM7.1ch 対応のアンプと接続し、**初期設定**「デジタル出力」を「PCM」に設定する(➜**操作編 104**)と、BDビデオの7.1ch音声を楽しむことができます。
- 「ドルビーデジタルプラス」、「ドルビー TrueHD」、「DTS-HD」の各音声をデコードできるアンプと接続し、**初期設定**「デジタル出力」を「Bitstream」に設定する（➜ **操作編 104**）と、それぞれの音声を楽しむことができます。
- 副音声や操作音を含む BD ビデオを再生時に上記の音声を楽しむ場合は、**初期設定**「BD ビデオ副音声・操作音」を「切」にしてください。（➜ **操作編 104**）

アンプ側の端子　　**本機側の端子**

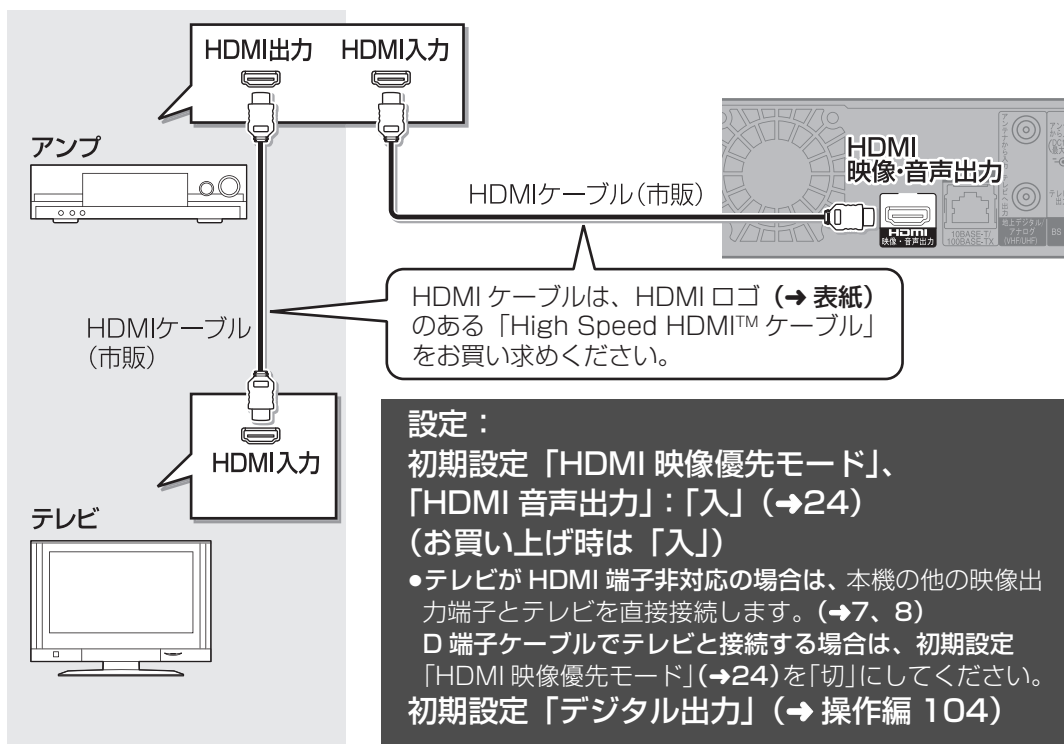
アンプと接続する

HDMI 端子に接続する場合

HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ（➜ **表紙**）のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。

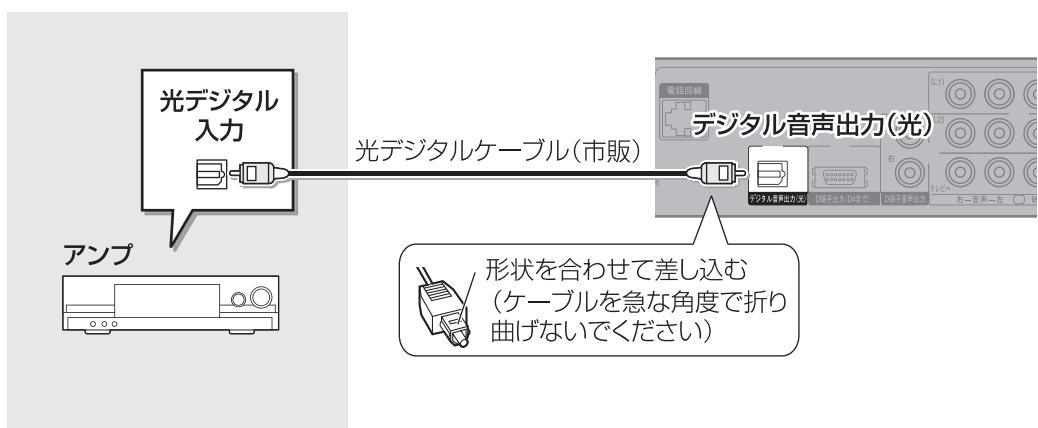
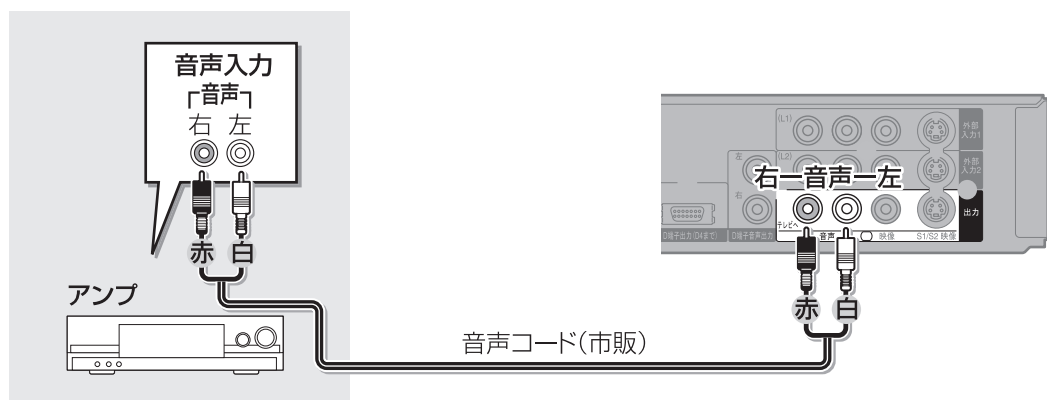
設定：

初期設定「HDMI 映像優先モード」、
「HDMI 音声出力」:「入」（➜24）
（お買い上げ時は「入」）

- **テレビが HDMI 端子非対応の場合は、**本機の他の映像出力端子とテレビを直接接続します。**（➜7、8）**
  D 端子ケーブルでテレビと接続する場合は、初期設定「HDMI 映像優先モード」**（➜24）**を「切」にしてください。

初期設定「デジタル出力」（➜ 操作編 104）

お知らせ

Wooo リンク機能に対応した当社製テレビ（Wooo）、Wooo リンク機能に対応したアンプと接続すると連動操作が可能になります。**（➜5）**

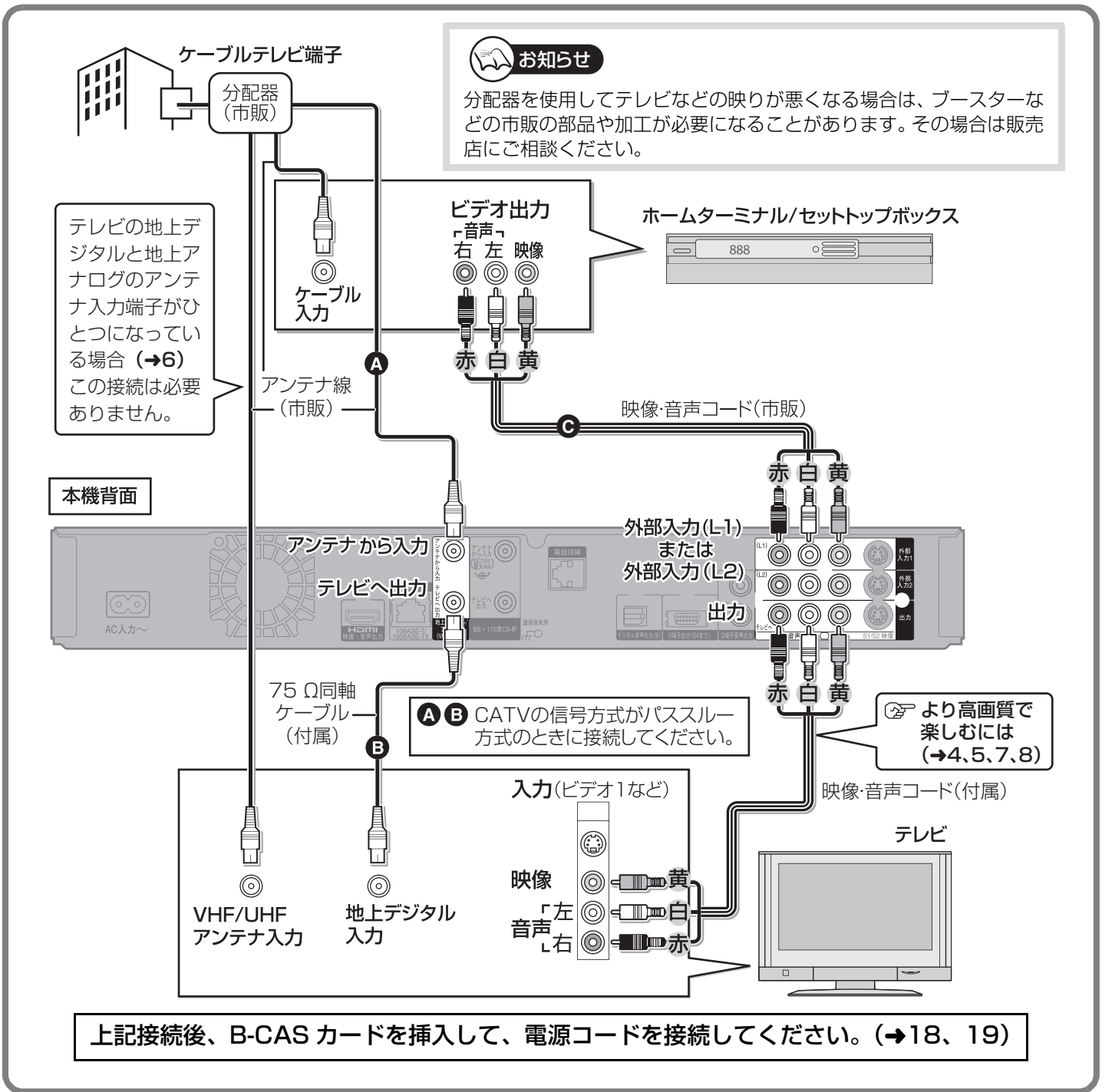
アンプ側の端子
本機側の端子
アンプと接続する
デジタル音声端子に接続する場合
●お使いのアンプに合わせて、接続してください
光デジタル入力
アンプ
光デジタルケーブル（市販）
デジタル音声出力（光）
形状を合わせて差し込む（ケーブルを急な角度で折り曲げないでください）
設定：
初期設定「デジタル出力」（➜ 操作編 104）
●テレビと本機をHDMIケーブルで接続している場合は、初期設定「HDMI 音声出力」を「切」にしてください。（➜24）
アナログ音声端子に接続する場合
音声入力
音声
右 左
赤 白
アンプ
右ー音声ー左
赤 白
音声コード（市販）

ケーブルテレビ
CATV [ホームターミナル / セットトップボックス (STB)] と接続する

放送受信について

地上デジタル放送	CATV 会社の伝送方式がパススルー方式※の場合、受信できます。分配器を使って下記 Ⓐ、Ⓑ を接続してください。伝送方式によっては受信できません。 ※CATV 会社が、地上デジタル放送を再送信する伝送方式です。ホームターミナル / セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。
BS・CS デジタル放送	受信できません。ホームターミナル / セットトップボックスで受信します。
地上アナログ放送	受信できます。ただし番組表（➜29）を受信することはできません。**番組表の受信には BS デジタル放送を受信できる衛星アンテナの接続が必要です。**

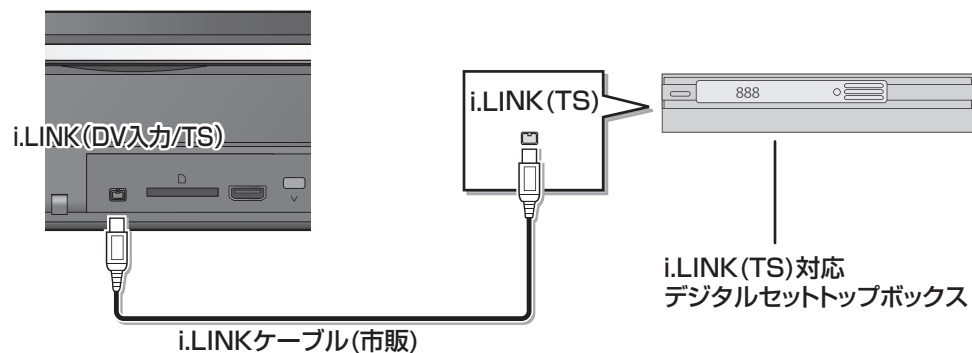
- ホームターミナル / セットトップボックスや CATV 専用のチューナーなどを本機のリモコンで操作することはできません。
- CATV デジタルセットトップボックスと接続する場合、下記 Ⓒ の代わりに、i.LINK ケーブルで接続するとハイビジョン録画ができます。（➜13）

CATV の接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくは CATV 会社にご相談ください。

上記接続後、B-CAS カードを挿入して、電源コードを接続してください。（➜18、19）

CATV 側で受信している番組を予約して、本機で予約録画することができます。**（➜ 操作編 74）**接続、設定、操作方法はセットトップボックスなどの取扱説明書もご覧ください。

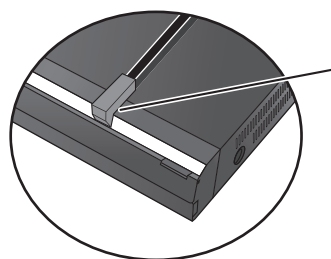
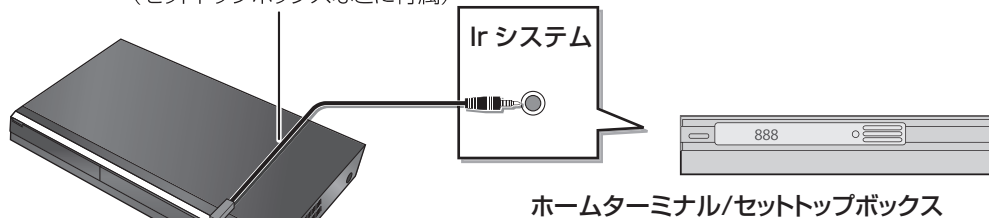
CATVから予約録画するために

i.LINKケーブルで接続する（デジタルセットトップボックスのみ）

ハイビジョン放送の番組をそのままの画質で予約録画できます。
●セットトップボックスが i.LINK 対応していない場合予約録画できません。

お知らせ
●S400対応のi.LINKケーブルをお使いください。
●S400に準拠していないi.LINKケーブルでは動作しません。

設定：
初期設定「i.LINK 機器モード設定」:「TS モード 2」（➜ 操作編 106）
初期設定「クイックスタート」:「入」（➜ 操作編 102）

Ir システムを使う

●接続した機器の Ir システム**(➜ 操作編 135)**がブルーレイディスクレコーダーに対応していない場合、予約録画できません。

番組表（G ガイド）受信について	本機で番組表（G ガイド）を受信するには、**BS デジタル放送を受信できる衛星アンテナの接続が必要です。（接続方法は ➜4）** ただし、CATV の伝送方式によっては衛星アンテナを接続していなくても、番組表を受信できる放送もあります。番組表受信について詳しくは、CATV 会社にご相談ください。

接続3 ネットワーク接続をする

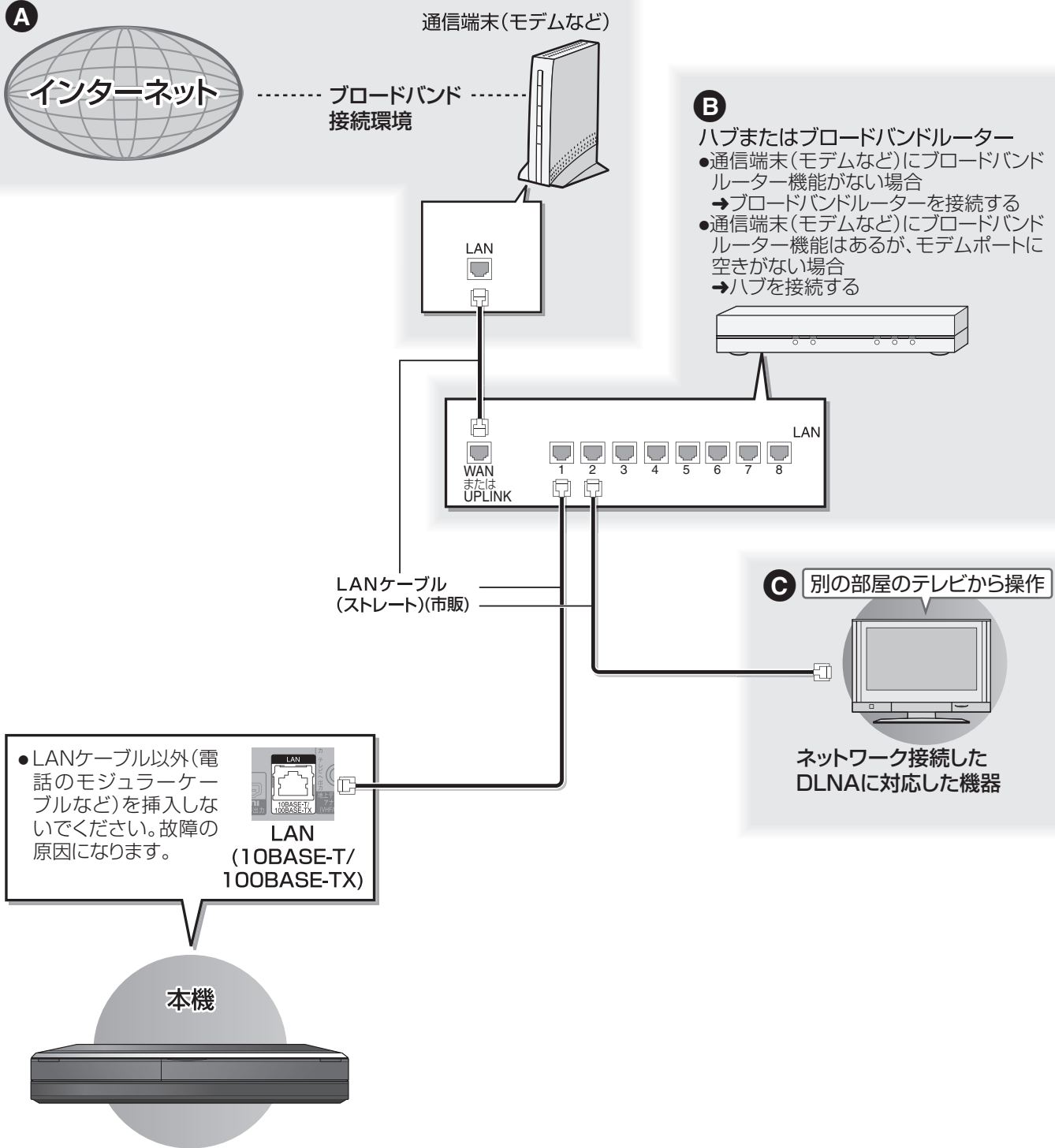
本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや、機能を利用することができます。
●本書では、ブロードバンド環境をすでにお持ちであることを前提に説明しています。
●以下のサービスや機能を利用しない場合は、この接続は不要です。

		必要な接続
BD-Live 対応のディスクを楽しむ	BD-Live 対応の BD ビデオの場合、インターネットを使って、特典映像の再生など様々な機能を楽しむことができます。**(➜ 操作編 49)**	Ⓐ Ⓑ
別の部屋のテレビから操作	ネットワーク接続したDLNAに対応した機器から本機のHDDにある番組を再生することができます。**(➜ 操作編 97)**	Ⓑ Ⓒ
デジタル放送の情報サービスの利用	ブロードバンドを利用したデジタル放送のさまざまな情報配信サービスを利用できます。	Ⓐ Ⓑ

接続後、ネットワークの設定と、連携する機器の設定を行ってください。(➜36 ～ 38)

☞ ルーターの設定などで本機の「MAC アドレス」を確認するには
初期設定「IP アドレス /DNS 設定」の「MAC アドレス」で確認してください。**(➜ 操作編 107)**

●接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナのケーブルを離してみてください。それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をおすすめします。
●ハブやルーターを経由せず、本機と各機器を LAN ケーブルで直接接続することもできます。(LAN ケーブルについてストレートケーブルとクロスケーブルのどちらを使用するかは、各機器の説明書をご確認ください)

インターネット、テレビとの接続

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 無線 LAN をお使いの場合は、無線 LAN 機器の説明書に従って適切なセキュリティー設定を行ってください。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 10BASE-T/100BASE-TX 対応のものをお使いください。
- ルーターの DHCP サーバー機能は「有効」（IP アドレスを自動的に割り当てる設定）をおすすめします。通常は「有効」に設定されています。
- ルーターのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。

使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。

ネットワーク機能を快適に利用するために

■インターネットとの接続について

数年間インターネットに接続していない場合、インターネットに接続できないことがあります。

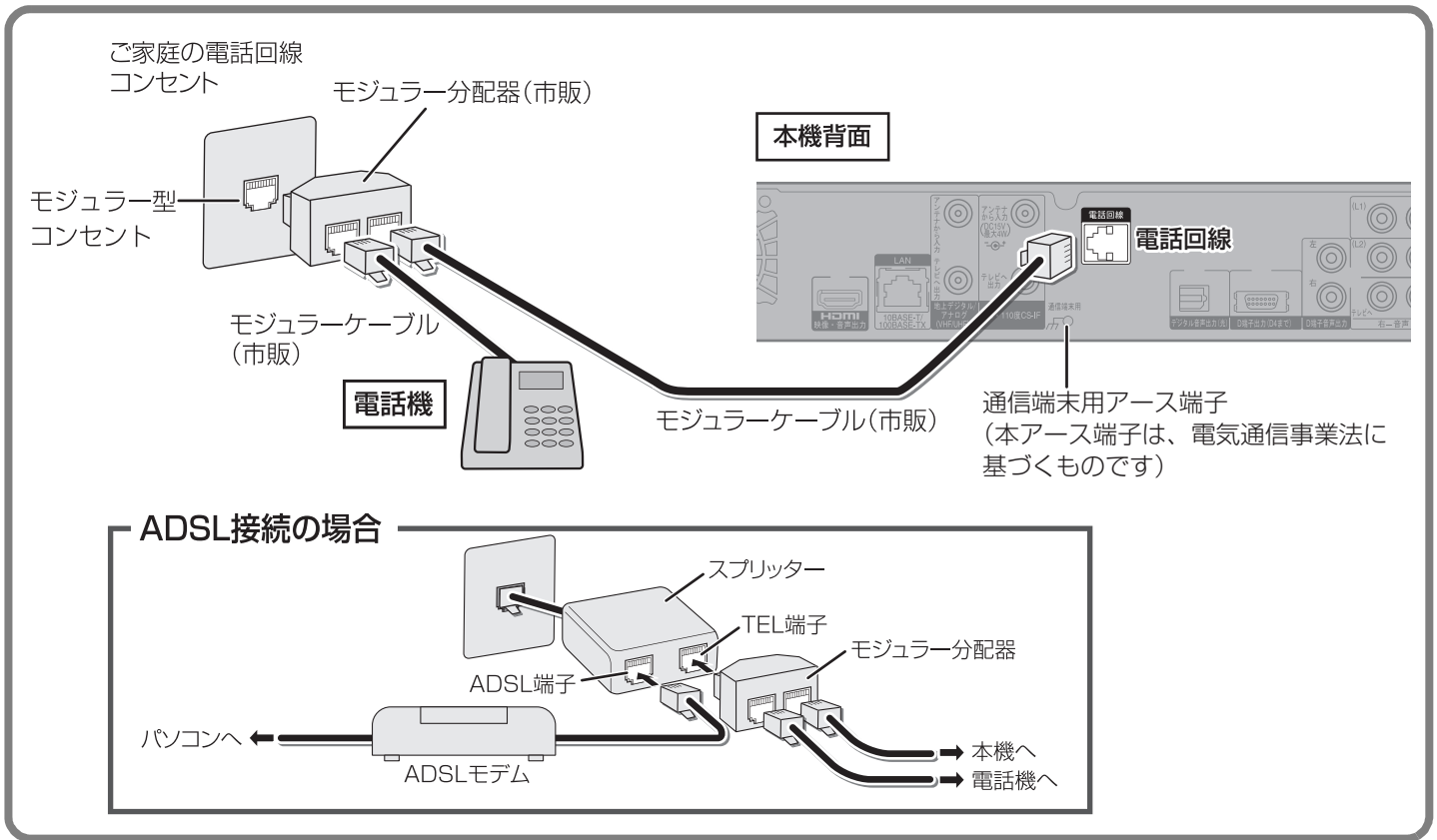
■免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

接続4 電話回線に接続する

視聴者参加番組を楽しむ（➜ **操作編 18**）ための接続です。必要に応じて接続してください。
●電話回線の使用時には回線接続料がかかります。

ご家庭の電話回線
コンセント
モジュラー分配器(市販)
本機背面
モジュラー型
コンセント
電話回線
モジュラーケーブル
(市販)
電話機
モジュラーケーブル(市販)
通信端末用アース端子
(本アース端子は、電気通信事業法に
基づくものです)

ADSL接続の場合
スプリッター
TEL端子
モジュラー分配器
ADSL端子
パソコンへ
ADSLモデム
本機へ
電話機へ

接続後、「電話テスト」を行ってください。（➜39）

お知らせ

●モジュラーケーブルを本機の LAN（10BASE-T/100BASE-TX）端子に誤って挿入しないでください。故障の原因になります。
●モジュラー分配器を本機の電話回線端子に差し込まないでください。取り外せなくなる恐れがあります。
●ISDN 回線の場合はターミナルアダプターのアナログポートに接続し、**放送設定**「電話設定」の「回線設定」で「プッシュ」を選んでください。**（➜39）**
●**以下の電話回線には接続できません。**
・ターミナルアダプターにアナログポートがない ISDN 回線
・デジタル方式の構内交換機に接続されている電話回線
・内線設定が 9 けた以上必要な構内交換機の電話回線
・ホームテレホンやビジネスホンが接続されている電話回線（主装置、ターミナルボックス、ドアホンアダプターが接続）
・IP 電話回線

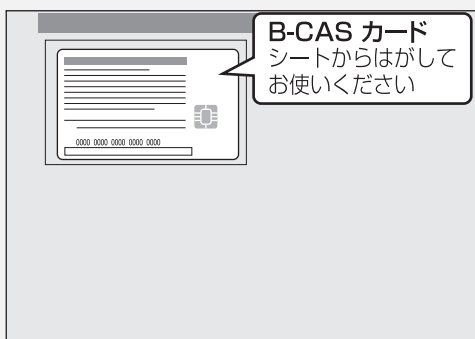
お知らせ

ご家庭の電話回線コンセントがモジュラー型（➜ 上記）でない場合、ご購入の販売店または NTT 営業所にご相談ください。
●電話回線に関する工事は、資格を受けた人（工事担任者）でなければ行えません。

接続5 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する

デジタル放送の受信には、B-CAS カード（付属）が必要です。

地上・BS・110 度 CS デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、2004 年 4 月から原則としてコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。挿入しないと、デジタル放送が映りません。

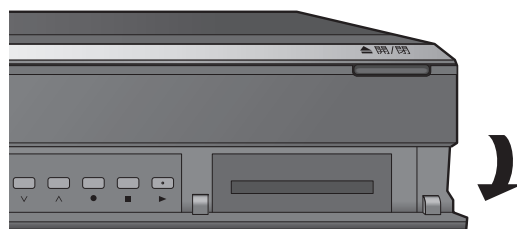
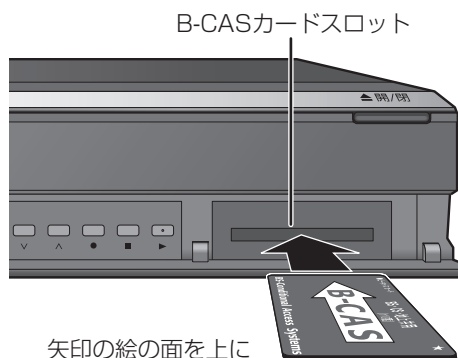
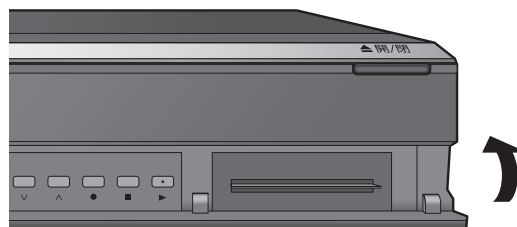
- B-CASカードは、本書が入っていた同じ袋の中の下記シートに添付されています。
- 「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」をよくお読みください。

B-CAS カード番号
- 本機でも番号を確認できます。（➜ 操作編 98）

カードの取り扱い
- 折り曲げたり変形させせない。
- 重い物を置いたり、踏みつけない。
- 水をかけたり、ぬれた手で触らない。
- IC 部には、手を触れない。
- 分解や加工をしない。

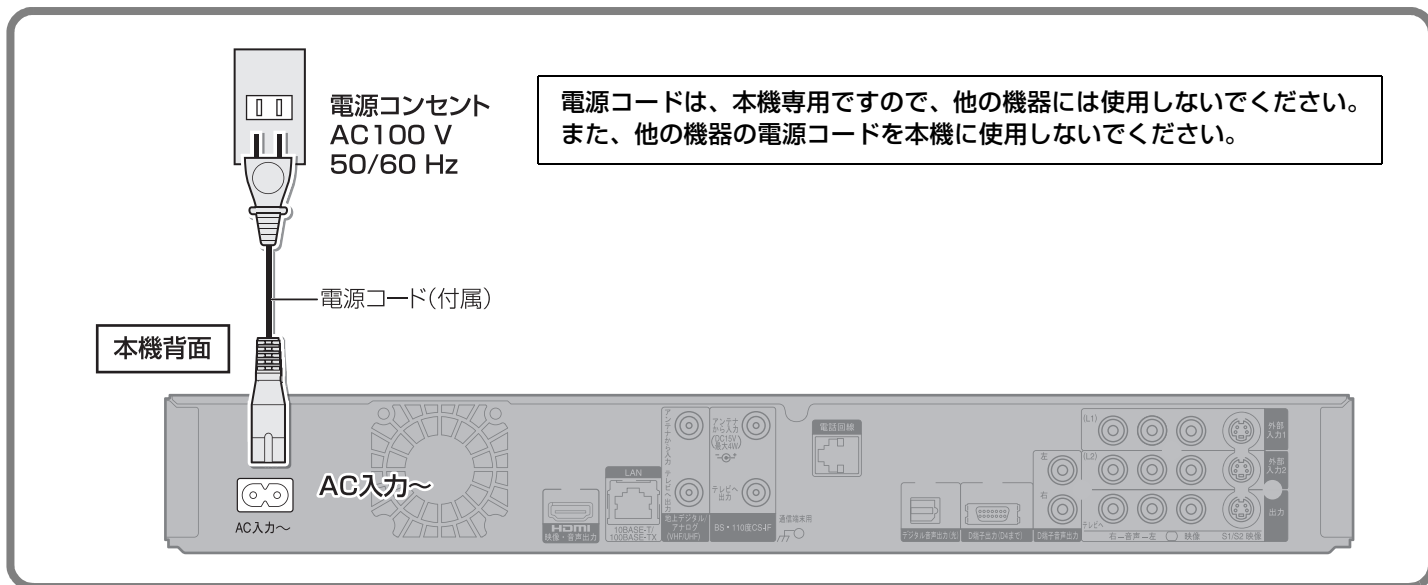
お問い合わせは（紛失時など）
(株)ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

B-CAS カードを挿入する

挿入 / 取り出しをするときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

1 前面のとびらを開ける

2 B-CAS カードスロットに、B-CAS カードを奥まで差し込む

3 前面のとびらを閉じる

お知らせ

- B-CAS カードのテストは、「かんたん設置設定」（➜20 ～ 23）の中で行われます。
- カードを取り出すときは、電源「切」の状態で電源コードをコンセントから外し、そのあとゆっくりと引き抜いてください。
- B-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。

接続6 電源コードを接続する すべての接続が終わったあと、接続してください。

長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをおすすめします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

●電源コードを抜いているときは、自動的に行われる番組表 (G ガイド) などの情報受信ができません。

電源「切」時の消費電力

クイックスタート（➜ 下記）	時計表示点灯時	時計表示消灯時
「入」時※	約 5.8 W	約 5.7 W
「切」時※	約 0.3 W	約 0.1 W

※ **放送設定**「受信設定」を以下に設定している場合
「地上デジタル」ー「アッテネーター」:「オン」(➜32)
「衛星」ー「アンテナ電源」:「オフ」(➜33)
「衛星」ー「アンテナ出力」:「オフ」(➜33)
●「衛星」ー「アンテナ出力」は通常は「オン」のまま使用してください。「オフ」にすると電源「切」時に、テレビなどで BS · 110 度 CS デジタル放送の番組を視聴できなくなります。(➜33)

クイックスタートとは（設定方法は ➜23、操作編 102）

電源「切」状態からの起動を高速化します。
例：番組表（G ガイド）(➜29) を約 1 秒で表示します。(映像端子または S 端子接続時)
●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。

ただし「クイックスタート」を「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。

●待機時消費電力が増えます。
●本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または午前 4 時ごろ (1 週間に一度程度) に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、[電源] 以外のボタン操作が数分間できません。また、ドライブや HDD から動作音がしますが、故障ではありません。)
●内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。